

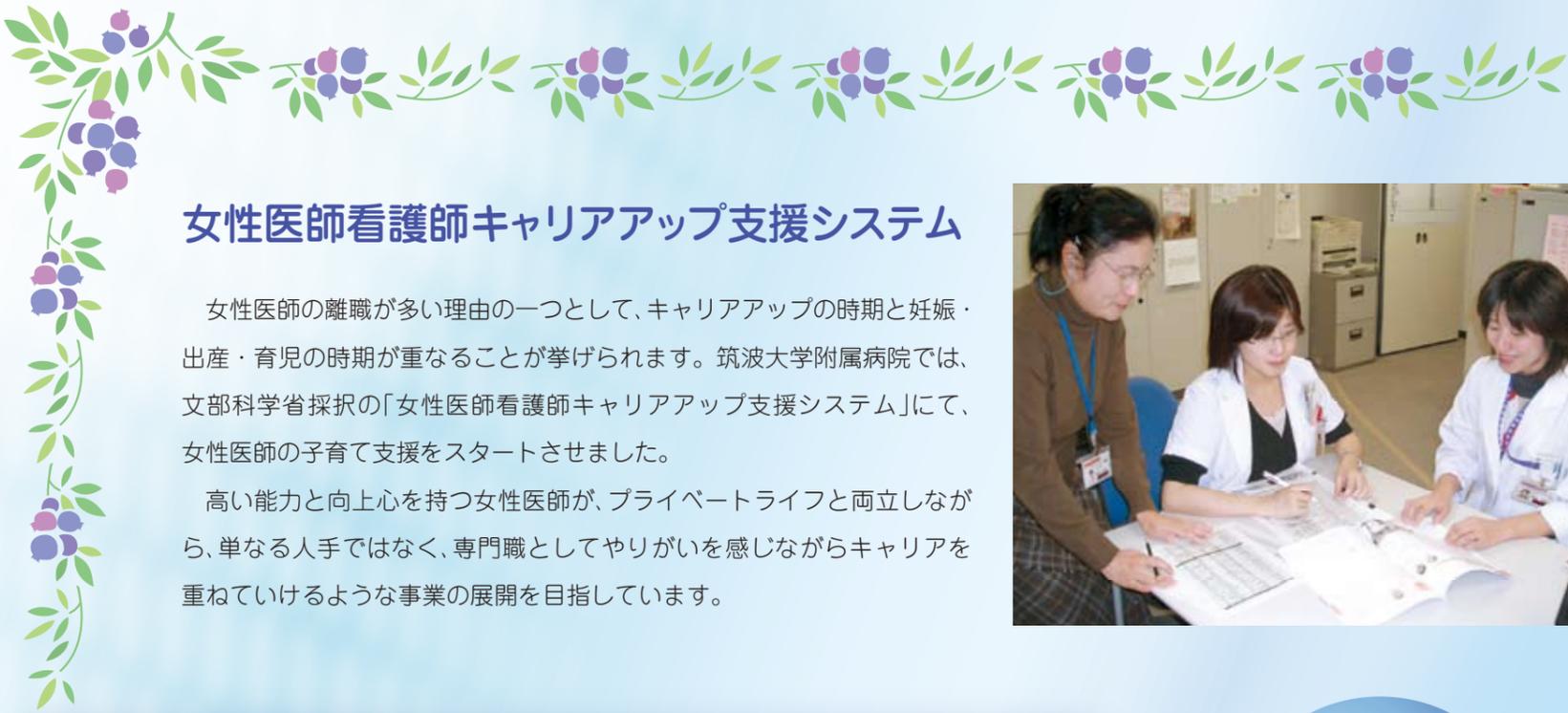
筑波大学附属病院総合臨床教育センター

# 女性医師看護師キャリアアップ 支援システム



## 女性医師キャリアアッププログラム

平成19年度 文部科学省地域医療等社会的ニーズに対応した  
質の高い医療人養成推進プログラム・採択プログラム



## 女性医師看護師キャリアアップ支援システム

女性医師の離職が多い理由の一つとして、キャリアアップの時期と妊娠・出産・育児の時期が重なることが挙げられます。筑波大学附属病院では、文部科学省採択の「女性医師看護師キャリアアップ支援システム」にて、女性医師の子育て支援をスタートさせました。

高い能力と向上心を持つ女性医師が、プライベートライフと両立しながら、単なる人手ではなく、専門職としてやりがいを感じながらキャリアを重ねていけるような事業の展開を目指しています。



### 診療・研修コーディネーター 女性医師のキャリアアッププログラム

実績のある当院のレジデント研修コースをベースとした研修を受けることができます。

当院の32の専門研修プログラムをベースとした研修を行います。これまでの経験・専門分野に応じたオーダーメイドでの研修プログラムを作成して、研修をサポートします。



後期研修修了者がさらに高い専門性を修得するための研修を受けることができます。

後期研修修了者またはこれと同等以上のキャリアを持つ女性医師には、診療を通じて専門性の高い知識と高度な医療技術の修得を目的とする研修も可能です。



修得したいスキルに合わせた研修時間・期間が設定できます。

個々の女性医師の技術、獲得したい技能の内容と育児などのプライベートライフとの両立についてコーディネーターと十分に相談の上、個別に半日～32時間/週の研修プログラムを設定して研修を行います。



筑波大学附属病院の豊富な教育資源を利用した充実の研修です。

Tsukuba Surgical Technique, Advanced Skills Education & Training Institution “TSUTAETAI プロジェクト”(つくば高度外科手技教育・トレーニング施設)等の臨床技術実習室、図書館など、大学病院ならではの教育資源の充実を図っており、本事業でもこれらの教育資源を活用した研修が受けられます。

## キャリア カウンセリング

## 女性医師看護師 キャリアアップ 支援システム

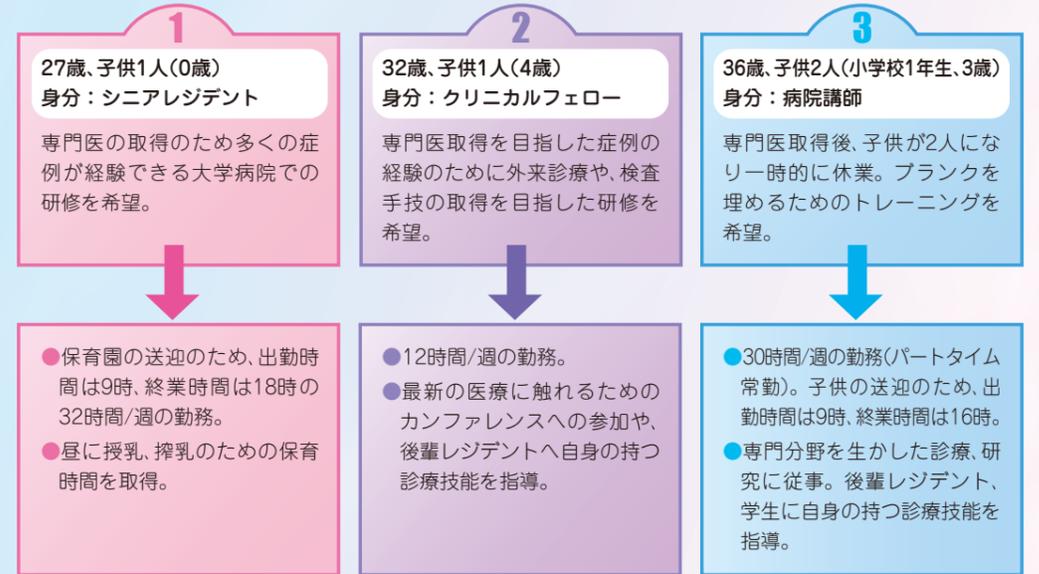
### 診療・研修 コーディネーター

### 環境整備

## キャリアカウンセリング

登録者は、長期(3年)、中期(1年)、短期(1か月)の研修目標を立ててそれをコーディネーターと共有し、定期的に個人面談を行って、フィードバック、次の短期目標の設定および必要な支援を行っていきます。面談は診療・研修上の視点にとどまらず、育児や家庭と仕事の両立、キャリアデザイン全体にわたるものとし、メンタルヘルスケアの充実や、先輩からのアドバイス・相談を受ける機会が設けられています。

### 支援の例



## 環境整備

### パートタイム常勤制度の導入

常勤職員でありながら、勤務時間を週20～30時間とする、新たな雇用制度の「パートタイム常勤」を導入しました。

他施設での子育て支援の多くが就学前の子供に限られるなか、**小学校3年生までのお子さん**を持つ方が支援対象となっています。



### e-learningシステム

時間的に、研修会・カンファレンスへの参加が難しい登録者に対し、過去に使用した教材、研修会・講演会を録画した動画などのアーカイブを作成して、いつでも利用できるようにするサポートシステムです。

### 筑波大学ゆりのき保育所の利用

保育時間は7時～21時とし、子供の体調不良時に対応できるよう、保健室を備えて看護師が常駐している、法人設置の保育所「ゆりのき保育所」の利用も可能です。また、母乳育児支援として、院内には搾乳室を整備しています。



「育児との両立が難しく、フルに働きたいのに働けない。」「診療に携わるのは好きだけれど、子供の養育を他人任せにしてしまってもいいのだろうか。」「子供のお迎え等で時間外勤務が出来ず、周囲に迷惑をかけてしまっている。申し訳ないので常勤をやめようと思っている。」「子育て期間に休職してしまったが、再研修のチャンスがあればもう一度臨床の場に復帰したい。」

このような意見を持つ女性医師を応援するため、筑波大学附属病院では女性医師看護師キャリアアップ支援システムを立ち上げました。

女性医師への子育て支援は一律ではないと思います。一口に女性医師と言っても専門科によって働き方は様々ですし、今までの研修歴や家庭環境も人それぞれです。当院のキャリアアップシステムの最大の特徴は、個人個人のニーズに合わせた研修プログラムの作成にあります。

私自身、子育て世代の一員であり、女性医師として働きながらの子育ての困難さを実感している一人です。コーディネーターとして、当プログラムの参加者一人ひとりと研修についてお話をさせていただいていますが、むしろ参加者の皆さんに、育児と仕事の両立のアイデアを教えていただいて、新規参加者のプログラム作りや、自分の子育てにも役立てるといようなことを数多く経験しています。

本取組の目指すところは、単なる女性医師看護師支援ではなく、ワークライフバランスを考えることで、男性医師を含めた医療現場全体の働き方を改善することです。子育て支援を必要としている方々の多くのご意見を参考にし、よりよいサポートシステムを作っていきたいと思っておりますので、皆様ご協力、ご参加のほどよろしくお願いいたします。

参加者の声

麻酔科医 卒後4年目/子供2人(3歳, 0歳)

2008年4月から本システムに参加しています。出勤時間は9時～9時30分に設定し、平日1日を休みにして、代わりに土曜日を勤務日としています。現在は、離乳が進んだため行っていませんが、参加当初は休憩時間に搾乳をしたり、母乳をあげに保育園に行ったりしていました。母乳育児をしていたので、搾乳スペースと搾乳器の整備があったのがとてもうれしかったです。本取組に参加していて良かったと思うのは、朝子供に手がかり遅くなったり、子供が病気で休まなければならない時に、周囲の理解が得られているということです。周りの方々にはご迷惑をおかけしていると思いますが、今いろいろな人に助けられている分、もう少し先に自分が誰かの役に立てる機会がきっとあると思ひ研修を続けています。

一週間のスケジュール



お問い合わせはこちらまで



筑波大学附属病院総合臨床教育センター

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2-1-1 / Tel. 029-853-3516 / Fax. 029-853-7000 / E-mail : kensyu@sec.tsukuba.ac.jp

<http://www.s.hosp.tsukuba.ac.jp/iryojinGP/iryoGP2/index.html/>

